

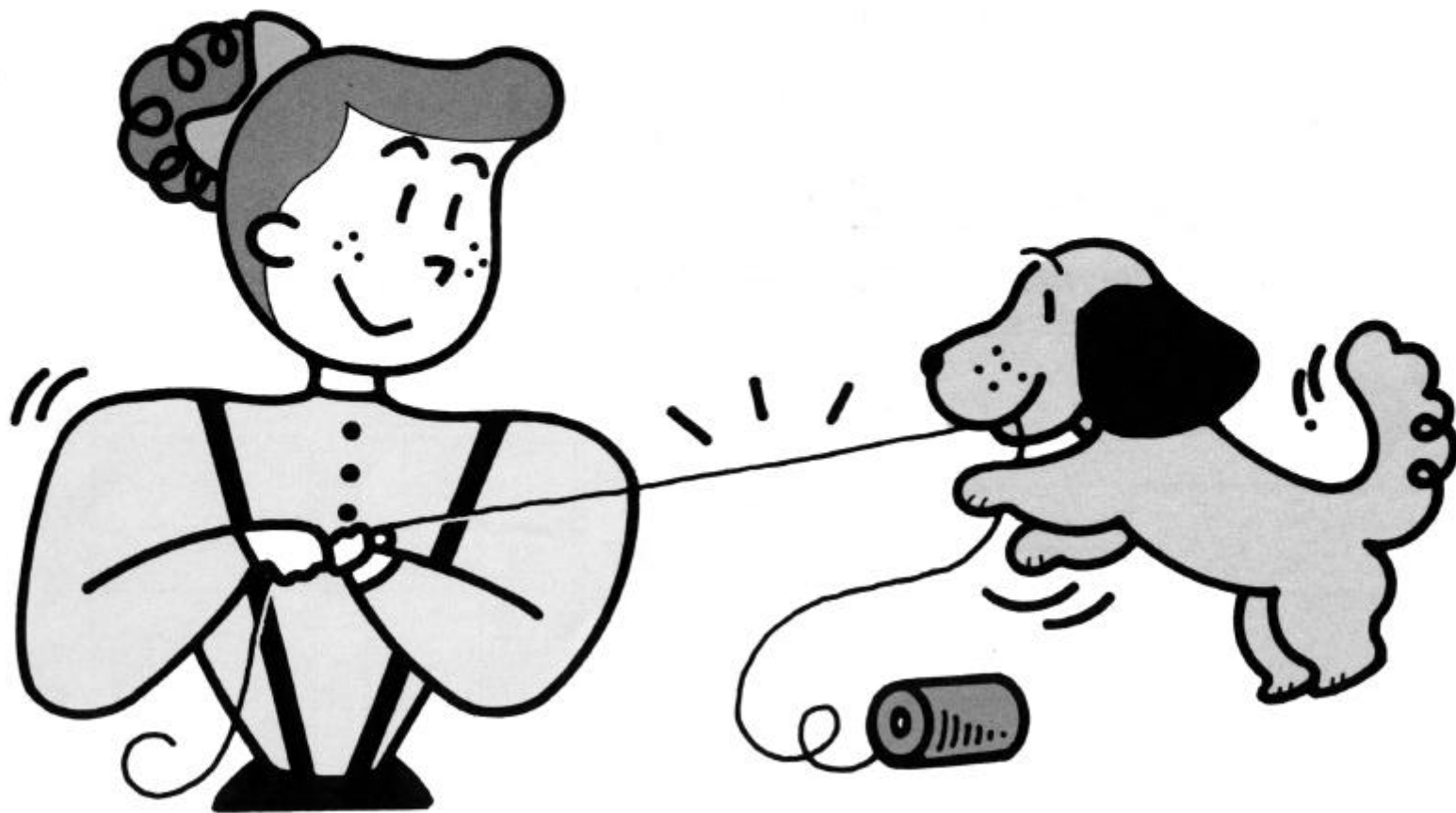
# Licia 取扱説明書

リ シ ア

電子ミシン ZZ3-B583

brother

お買い上げありがとうございます。  
この製品の素晴らしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。



## 自動糸調子で、らくらくソーイング!!

「リシア」の糸調子は、布地や糸の種類に関係なく自動的に調子が取れるようにセットされています。

# もくじ



■糸と針の選択早見表	1
■ぬい方早見表	1
■付属品	1
■各部の名称	2

## A

ぬう前の知識

■自動糸調子 ■電源コード ■電源スイッチ ■ランプスイッチ	3
■プーリー ■模様選択ダイヤル ■表示窓濃度調節レバー	3
■メッセージキー	4
■スタート/ストップスイッチ ■スピードコントロールレバー	4
■ぬい目の長さ調節ダイヤル ■返しぬいレバー	4

## B

糸の通し方

■ボビンの下糸巻き	5
■ボビンのセット	6
■上糸のかけ方	7
■糸通し装置の使い方	7
■下糸の引き出し方	8

## C

ぬってみましょう

■基本操作	9
■押えの付け替え方	10
■片押えの使い方	10
■まつりぬい押えの使い方	11
■裁ち目かがり押えの使い方	11
■ボタン穴かがり押えの使い方	12
■糸調子	13
■こんなことも知っておきましょう	13
押えあげレバー フリーアームにするには 送り歯上下スイッチ	

## D

ミシンを大切に

■針の交換	14
■ランプの交換	14
■お手入れ	15
■トラブルチェック	16



## 糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地			薄地		厚地		のびる布地		ほつれやすい布地		ステッチ糸の場合				
	フロード	タフタ	ギャバジン フラン	ローン	シーセツ	ポーラ	アニム	ニューロイヤ	ツイード	アメリ	ジャージ					
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	二用糸 アメリ		カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	80~80	50~80	40~50	50	50			50~80	50~80	50~80	30	30
針太さ	11~14			9~11		14~16		ゴールド針 11~14		9~14		16~18				

## ぬい方早見表

模様の種類	直線		ジグザグ		裁ち目 かがり		ジグザグ 三重ぬい		三重ぬい		まつりぬい		直線		ボタン穴 かがり	
模様番号	1	2	3	4	5	7	9	10	6	8	1	a	b			
選択模様	---	---	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	---	---			
押え記号						J						L	G	I	A	
主な用途	ぬい・その他		ぬい アッパ パッチワーク		裁ち目 かがり	その他 (のびる布地)	裁ち目 かがり	飾りぬい	その他	ぬい	まつりぬい	裁ち目 かがり	フラスナー 付け	その他 ボタン タック	ボタン 穴 かがり	
返しぬい レバー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
ぬい目の長さ 調節ダイヤル	★	★	★						★			★	★			

●…返しぬいレバーを押している間、返しぬいができます。 ★…調節することができます。

## 付属品

付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。



補助テーブルを手前に開くと  
付属品が収納されています。



ジグザグ押え



片押え



裁ち目かがり押え



まつりぬい押え



ボタン穴かがり押え



リッパー



ミシンブラシ



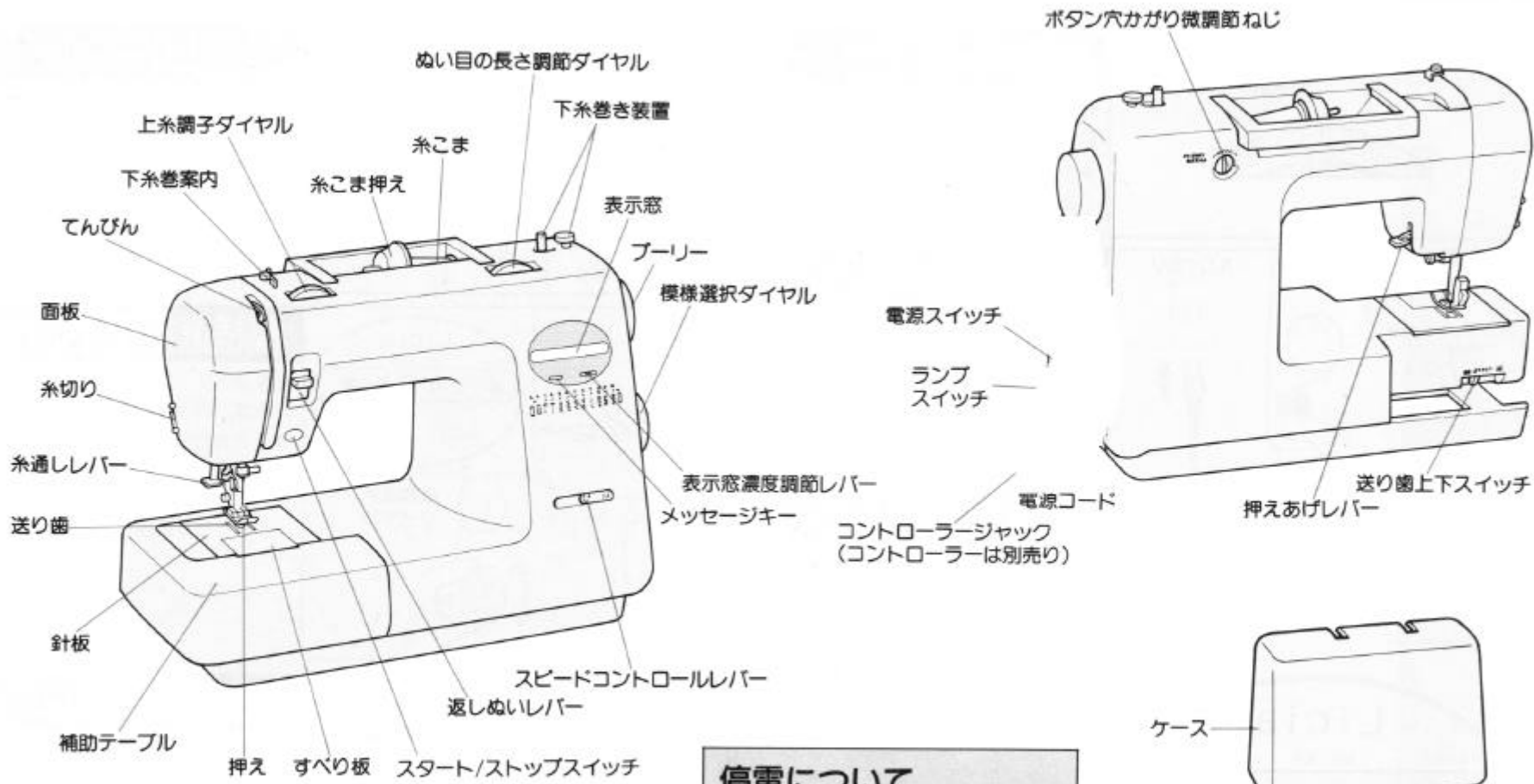
ミシン針



ボビン

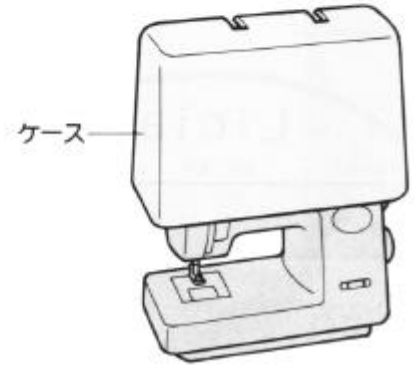
ボビンは、必ず専用ボビン  
をご使用ください。  
(部品コード 136492001)

# 各部の名称



## 停電について

- 運転中に停電が発生した場合。
- ・ 電源プラグを抜いてください。
- ・ 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。



# ぬう前の知識

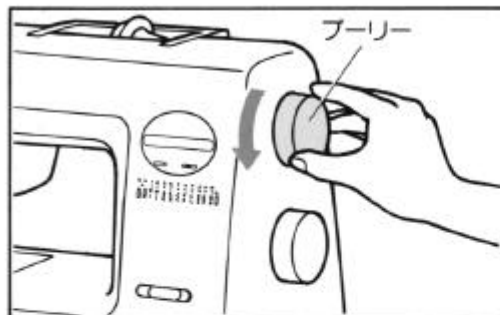
上糸調子ダイヤル



## 自動糸調子

布地や糸の種類に関係なく最適な糸調子でぬうことができます。

- ギャザーやシャーリングなどをする場合には、糸調子をくずしてぬうこともできます。



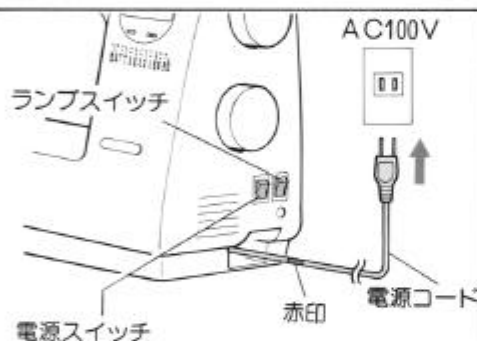
## プーリー

プーリーを回すと、針が上下します。

- プーリーは、必ず手前側に回してください。
- 模様選択する場合は、必ず針を上にしてください。

ランプスイッチ

AC100V



電源スイッチ

赤印

電源コード

## 電源コード

※電源コードの赤印以上は引き出さないでください。

※電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから離してください。

## ■ランプスイッチ

## 電源スイッチ

電源を(入)にすると、表示窓に〈上糸のかけ方〉が2回表示され、その後ミシンの状態により次のいずれかを表示します。

- 模様を選択されているとき → 模様表示
- 下糸巻き状態のとき → 下糸巻き中の表示

※〈上糸のかけ方〉を表示中でも模様選択やミシンの運転ができます。

※〈上糸のかけ方〉の表示中に次の操作をすると、その表示は消えます。

- ①メッセージキーを押したとき。
- ②模様選択をするとき。
- ③下糸巻きをするとき。



表示窓

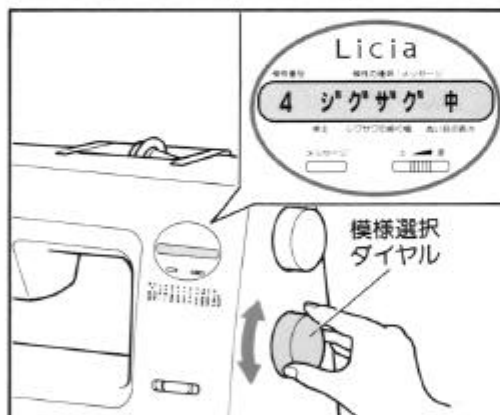


上イトカケハ 押エレパート 針 ラ 上ゲテ  
1カラ6 ノ ジュン ニトオシマス。

## 模様選択ダイヤル

模様選択ダイヤルを回すと、選択した模様が表示窓に表示されます。

- 模様選択ダイヤルは、必ず針が上がっていることを確認してから回してください。針が曲がったり、折れたりする場合があります。



## 表示窓濃度調節レバー

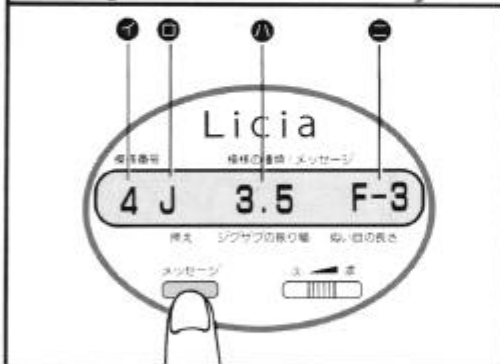
表示窓のメッセージの濃さを変化させることができます。





## メッセージキー

メッセージキーを押すと、表示窓に表示されている模様の〈押え記号〉、〈ジグザグの振り幅〉〈ぬい目の長さ〉の調節範囲、模様の〈用途〉を表示します。



タチ目カカリ、アップリケ ナドニ ツカイマス。

たとえば  
現在の模様表示が  
4 ジグザグぬい  
のとき

↓  
メッセージキーの操作

1 1回押すと次の表示をします。

- ① 模様番号
- ② 使用する押えの記号
- ③ ジグザグの振り幅(一定)
- ④ ぬい目の長さの調節範囲

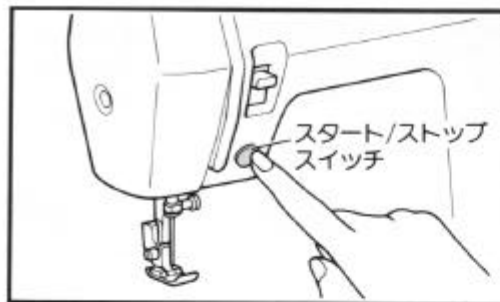
※この表示状態からでも、模様選択とミシンの運転ができます。  
※模様番号8、9、10番のぬい目の長さは一定です。

2 もう1回押すと模様の用途を表示します。

3回表示したあと、最初の模様表示にもどります。

※表示の途中でメッセージキーを押した場合は、最初の模様表示にもどります。

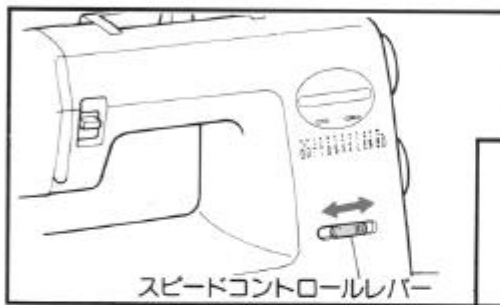
※表示の途中でも模様選択とミシンの運転ができます。



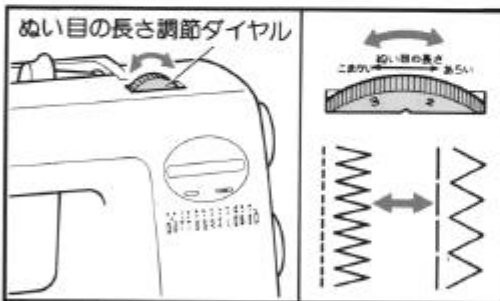
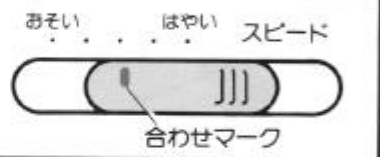
## スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

- スイッチを押している間は、低速でぬいます。
- ミシンを停止させると、針は上で止まります。



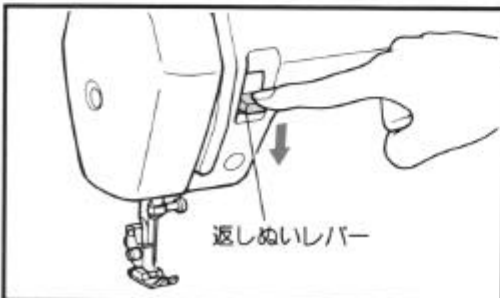
## スピードコントロールレバー



## ぬい目の長さ調節ダイヤル

1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。

- 選んだ模様によっては調節できません。(1ページぬい方早見表参照)



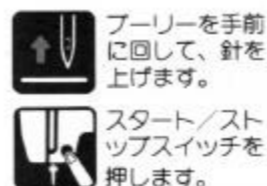
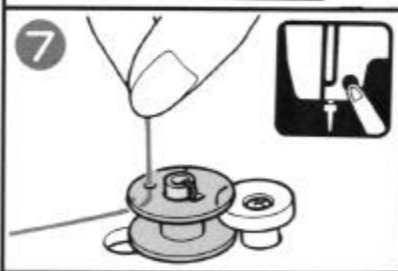
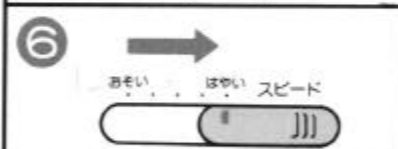
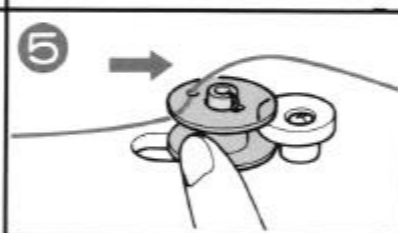
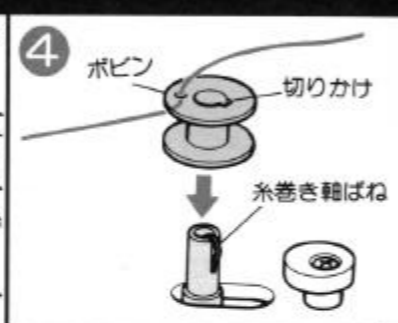
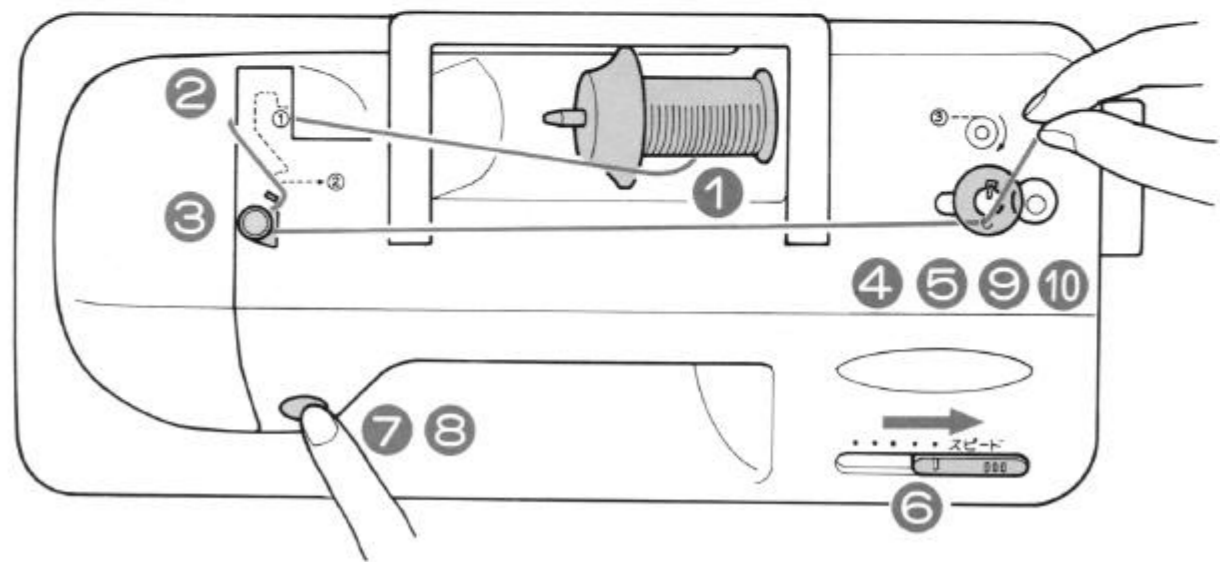
## 返しぬいレバー

レバーを下げている間は返しぬいを低速で行います。

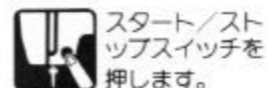
# B 糸の通し方

## ■ボビンの下糸巻き

ボビンは、専用ボビンをご使用ください。(部品コード136492001)



フーリーを手前に回して、針を上げます。



スタート/ストップスイッチを押します。



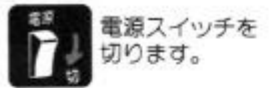
押えを上げます。



押えを下げます。



フーリーを手前に回します。



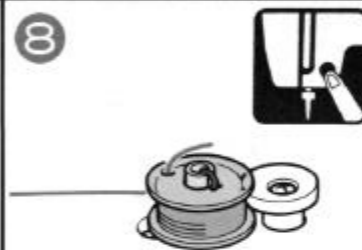
電源スイッチを切ります。

ボビンの穴に糸を通し、切りかけと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。

糸端を持ち、ボビンを右へスライドさせます。

スピードコントロールレバーをくはやいに合わせます。

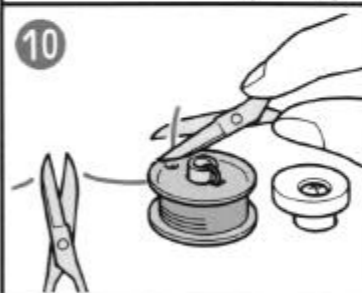
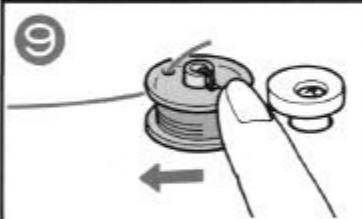
糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押します。



巻き終わるとボビンの回転は止まります。

巻き終わったらスタート/ストップスイッチを押して止めます。

ボビンを左へもどします。



糸端を切り、ボビンをはずします。

**Licia**

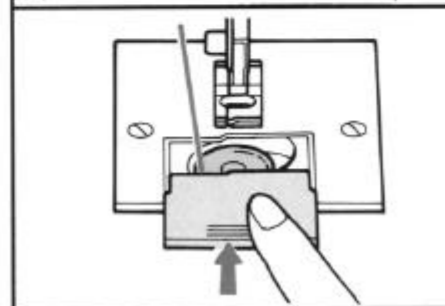
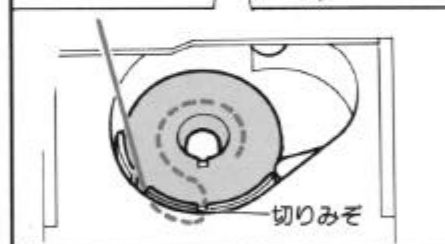
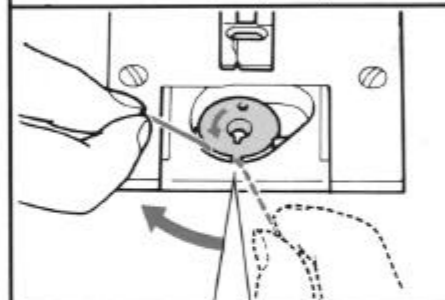
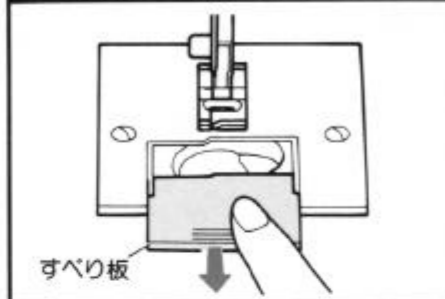
縫物の種類・メッセージ

シイト マキ

押え シワサブの糸の巻 糸の目の長さ

下糸を巻いているとき(状態)は、表示窓に〈シイトマキ〉と表示します。

## ■ボビンのセット



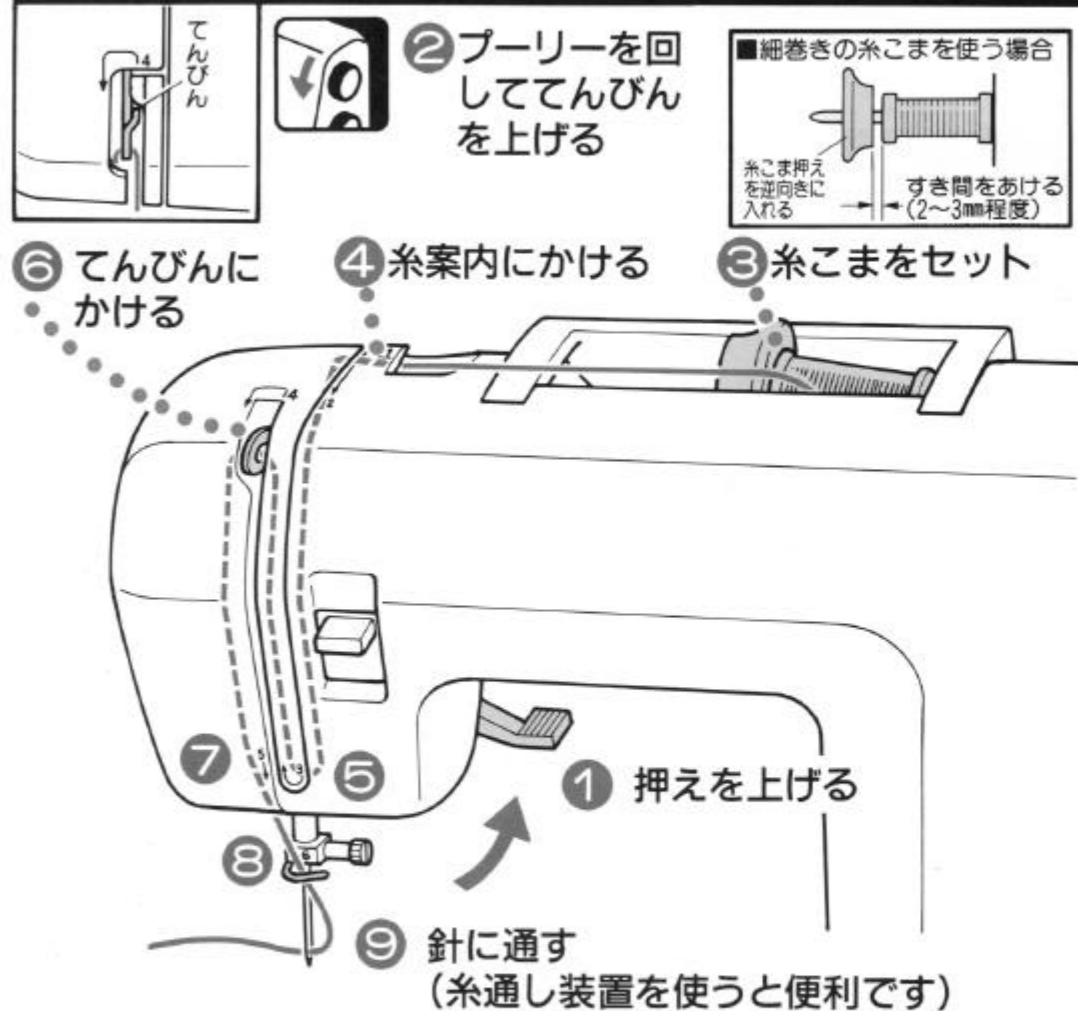
1 すべり板を開きます。

2 ボビンをセットし、糸を切りみぞへ通します。

3 すべり板を閉めます。



## ■ 上糸のかけ方



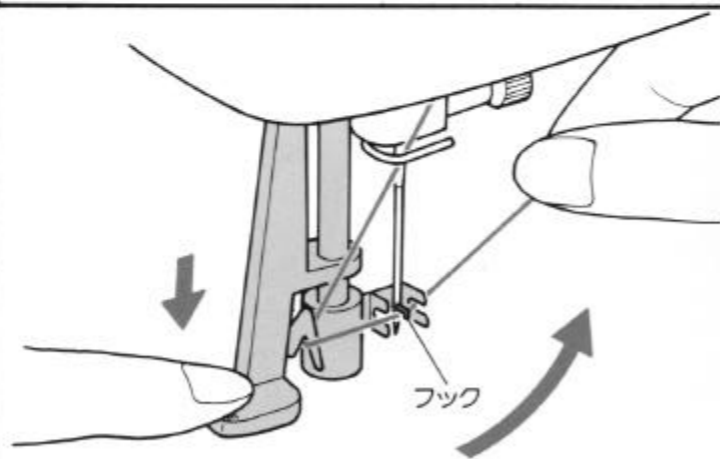
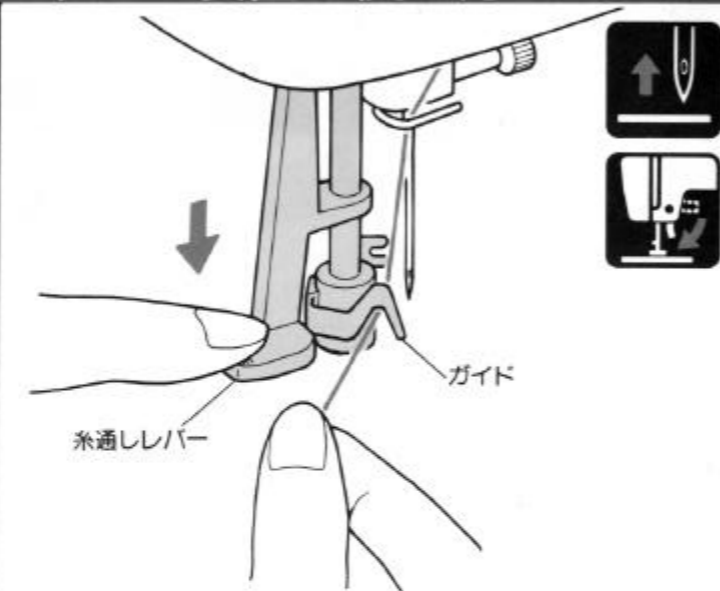
■ 細巻きの糸こまを使う場合

糸こま押えを逆向きに入れる

すき間をあける (2~3mm程度)

**注** ①をしないと、糸がらみの原因になります。

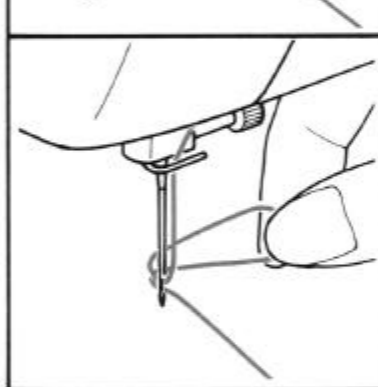
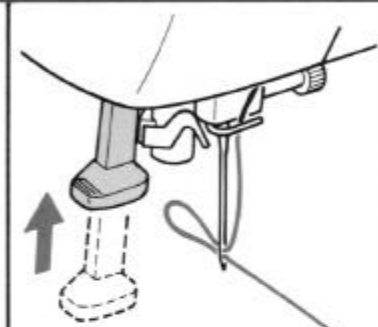
## ■ 糸通し装置の使い方



1 プーリーを手前に回して針を上げ、押えあげレバーを下げます。

2 糸通しレバーを下げながら、糸をガイドにかけます。

3 糸通しレバーをさらに下まで下げ、糸をフックにかけます。  
●糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



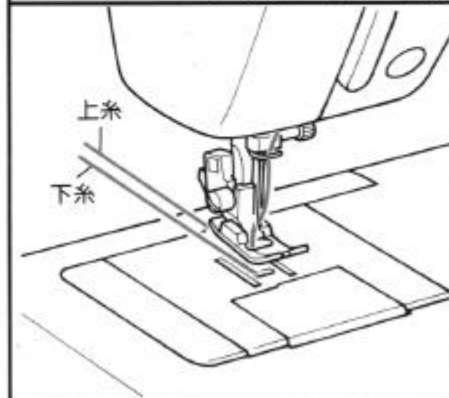
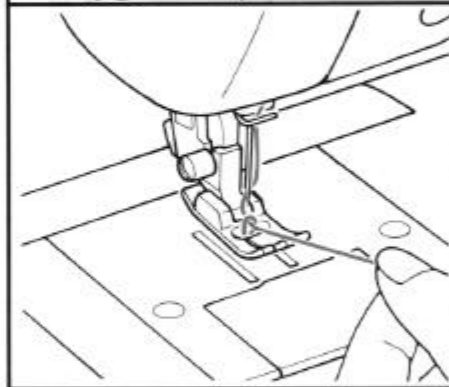
4 糸通しレバーを上げると同時に、糸から手を離します。

5 上糸をうしろへ引き出します。

針	糸		
9 番	30番	50番	60番
11 番	30番		
14 番	30番		
16 番	20番		

●糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは左記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は左記に関係なく、ミシン針14~16番の範囲内でご使用ください。

## ■ 下糸の引き出し方



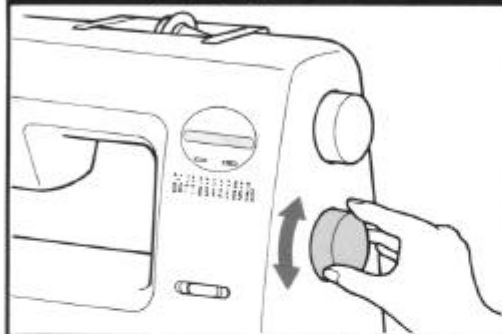
1 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。

2 上糸を引きながら下糸を引っ張り出します。

3 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

# C めってみましょう

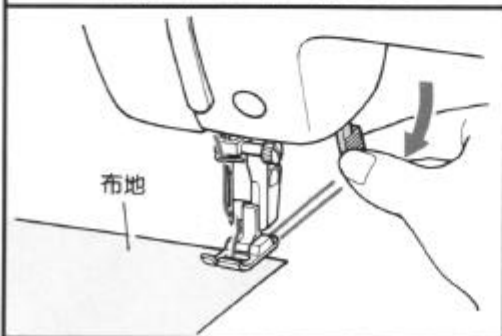
## 基本操作



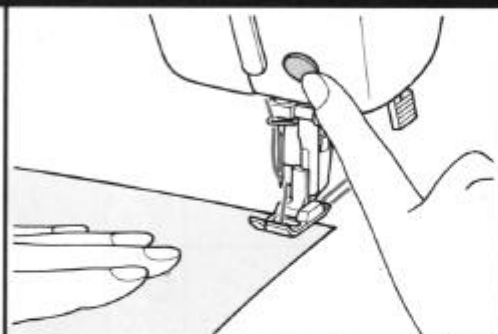
**1** 模様選択ダイヤルで模様を指定します。



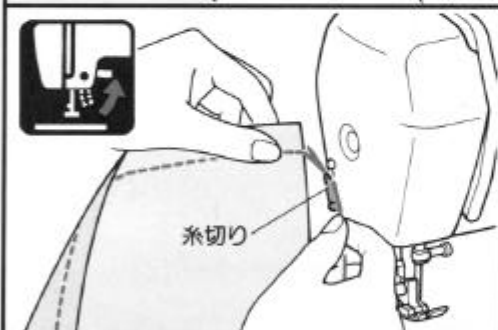
**2** 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。  
(10ページ 押えの付け替え方 参照)



**3** 布地を入れ、押えを下げます。



**4** スタートします。  
● スタート/ストップスイッチを押し続けると、その間低速でぬいます。  
● 手はかるく布地に添えます。



**5** 再びスタート/ストップスイッチを押してストップします。  
**6** 押えを上げ、糸を切ります。

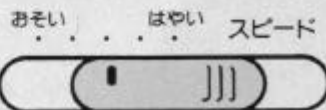
### ■ぬい目の長さ調節

選んだ模様によっては、ぬい目の長さは調節できません。



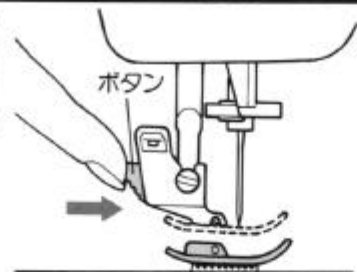
### ■スピード調節

ぬっている途中でも調節できます。



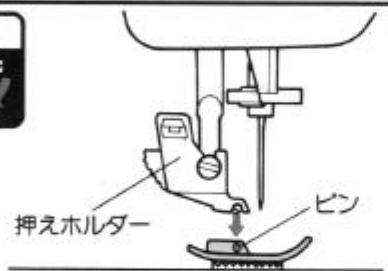
■ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

## ■ 押えの付け替え方



### ■ 取りはずし方

押えを上げ、押えホルダーのボタンを押します。



### ■ 取り付け方

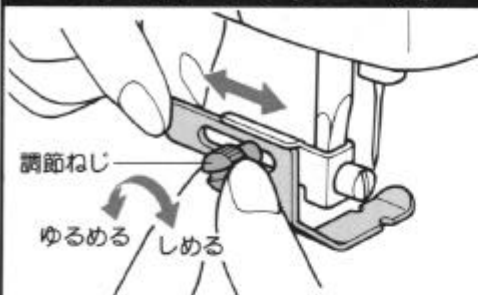
押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

## ■ 片押えの付け替え方

押えを上げ、ねじをゆるめて押えホルダーをははずします。

片押え(1)を付け、ねじを締めます。

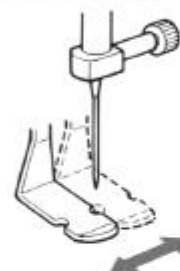
## ■ 片押えの使い方



●〈1〉押えに付け替え、模様番号〈1〉を指定します。

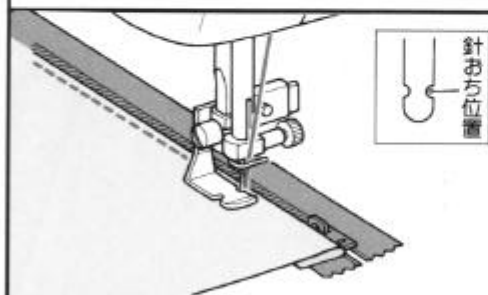


1 調節ネジをゆるめて、片押えの位置を調節します。

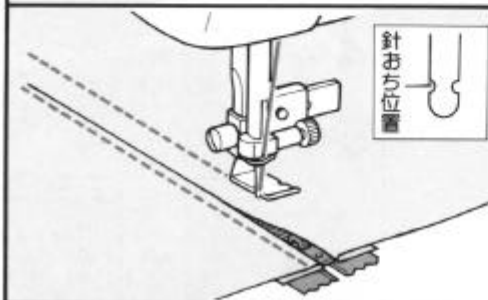


2 プーリーを回して、針おち位置を確かめます。

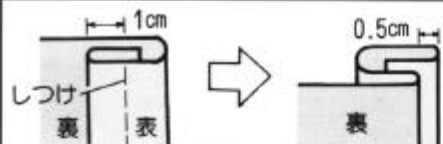
3 打ち合わせの下になる方を先にぬいます。



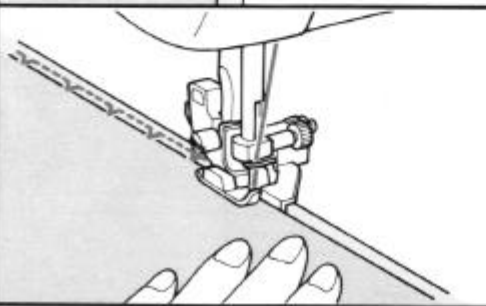
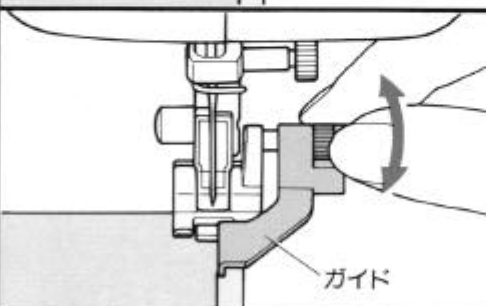
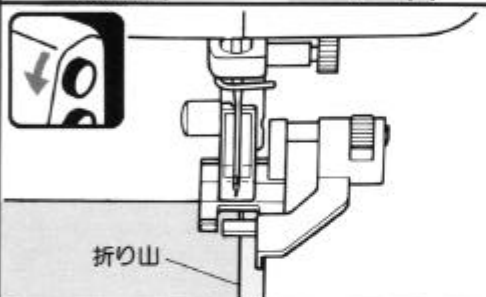
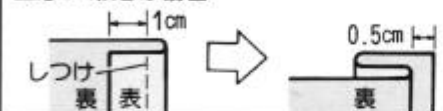
4 押えの位置を変え、打ち合わせの上になる方をぬいます。



## まつりぬい押えの使い方



### ■厚い布地の場合



- 〈L〉押えに付け替え、模様番号〈6〉を指定します。

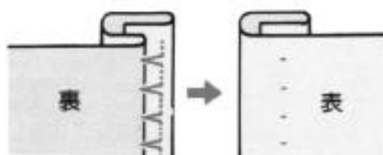


- 1 布地を折ります。
- 2 左の針あちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。

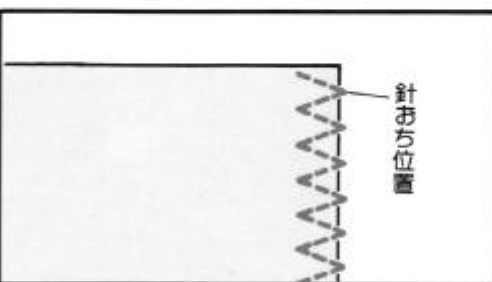
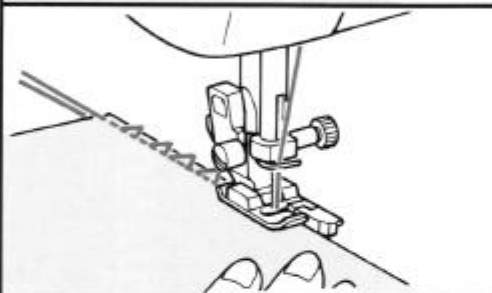
- 3 折り山にガイドを合わせます。

- 4 ぬい始めたら、折り山がガイドに合うように手を添えます。

- 5 表に戻します。



## 裁ち目かがり押えの使い方



- 〈G〉押えに付け替え、模様番号〈8〉を指定します。



- 1 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。

- 2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。

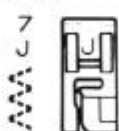
- 裁ち目かぎりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

※模様番号〈3〉のときは、裁ち目かがり押えを使わないでください。

### ■のびる布地の場合

必ず〈J〉押えに付け替えてください。

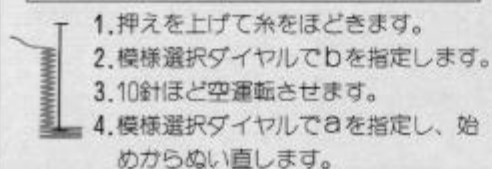
布地は、針が布端より少し外側におちるようにセットします。



### ●ボタン穴かがりを失敗したとき●

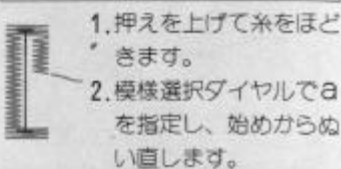
(失敗した場所により操作がちがいますのでご注意ください)

#### aをぬっているとき



1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルでbを指定します。
3. 10針ほど空運転させます。
4. 模様選択ダイヤルでaを指定し、始めからぬい直します。

#### bをぬっているとき

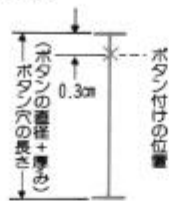


1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルでaを指定し、始めからぬい直します。

# ■ボタン穴かがり押えの使い方 ●必ず試しぬいをしてください。

## ■たてのボタン穴かがり

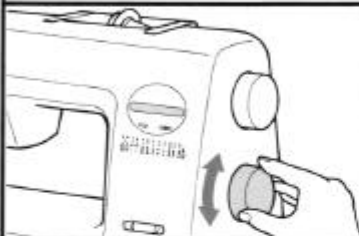
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



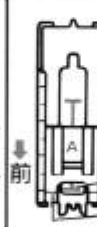
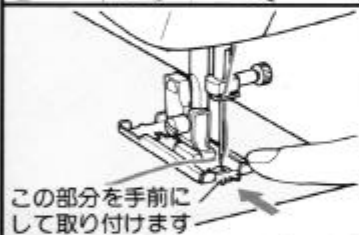
## ■横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。

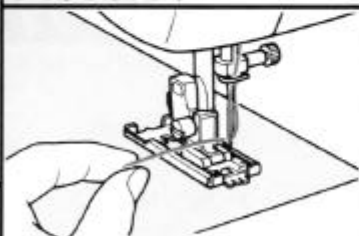
ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。



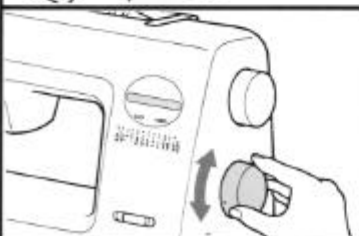
**1** ボタン穴かがりはa→bの順に行いますので、模様選択ダイヤルでaを指定します。



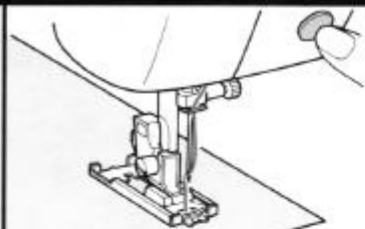
**2** ボタン穴かがり押えをセットし、押えの穴にボタン穴のスタート点を合わせて押えを下げます。



**3** 上糸を持ってスタートします。  
**4** 布地のしるしに合わせて止めます。

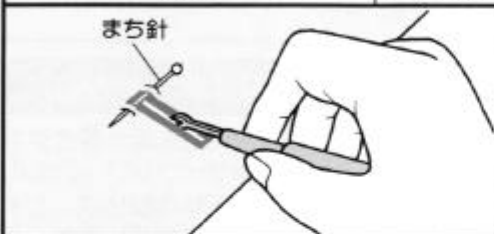


**5** 模様選択ダイヤルでbを指定します。  
\*機構上、aからbに切り換えても、2針または3針分aのぬい目が入ります。



**6** スタートします。

**7** ぬい始めの位置までぬったら、外側で止めます。



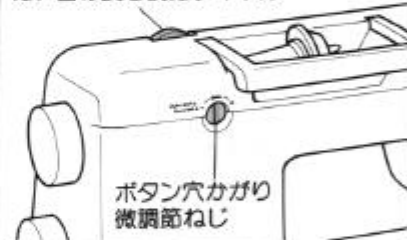
**8** 糸端を裏で結び、リッパーで切り開きます。

## ボタン穴かがりのぬい目調節

**1** ぬい目の長さ調節ダイヤルをFに合わせ、模様aをぬいます。



## ぬい目の長さ調節ダイヤル



**2** ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



a のぬい目は、ぬい目の長さ調節ダイヤルで調節します。

**3** 模様bをぬいます。



**4** aのぬい目と比べ、ボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。



b のぬい目は、ボタン穴かがり微調節ねじで調節します。

## 糸調子

### 自動糸調子



糸調子は、布地や糸の種類に関係なく自動的に調子が取れるようにセットされています。

ギャザーなど、糸調子をくずしてぬう場合(通常は変えません。)

上糸調子ダイヤル



特殊な糸や素材をぬう場合やギャザー・シャーリング・シエルタックなどをする場合は、上糸調子ダイヤルで調節します。

■上糸を強くしたい場合  
上糸調子ダイヤルを右に回します。

上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



■上糸を弱くしたい場合  
上糸調子ダイヤルを左に回します。

上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

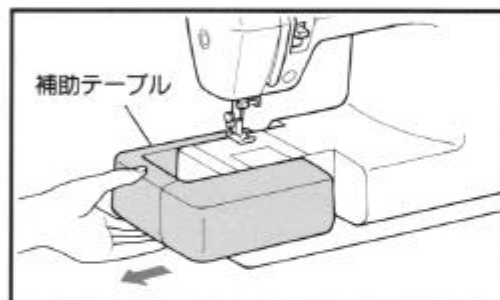


## こんなことも知っておきましょう



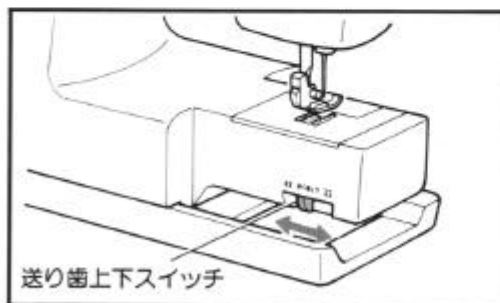
### 押えあげレバー

レバーを下げると押えが下がり、布地を押さえます。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



### フリーアームにするには

補助テーブルを左へ引きます。



### 送り歯上下スイッチ

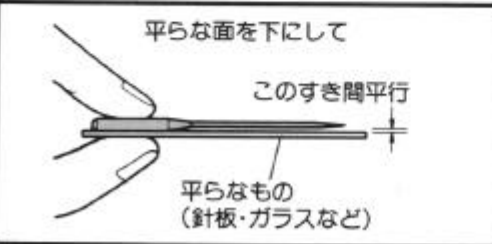
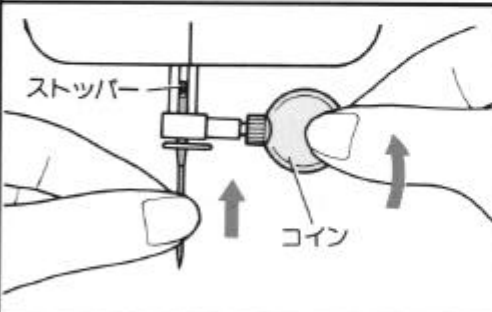
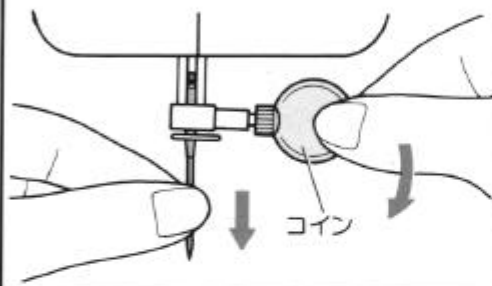
補助テーブルを取りはずした表側にあります。

- ▲▲…送り歯が上がり、布地を送ります。
- ▲▲…送り歯が下がり、布地を送りません。

# D

# ミシンを大切に

## 針の交換



**1** 電源スイッチを切り、針を上げ、押えを下げます。

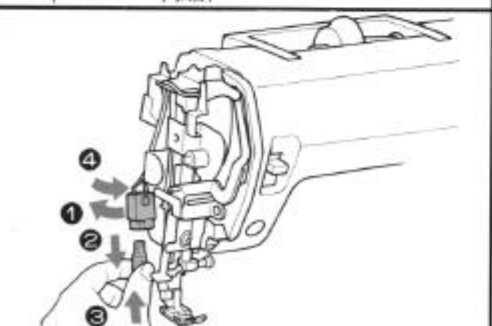
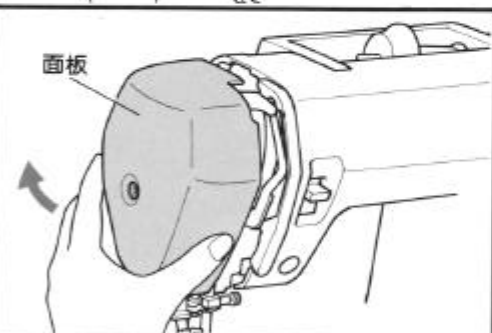
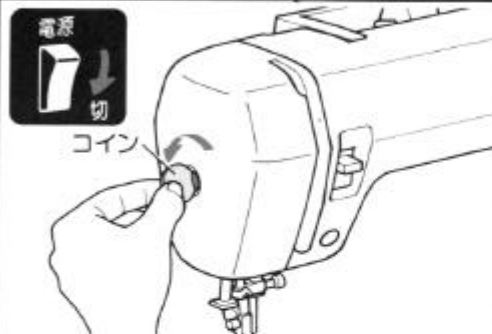
**2** ねじをゆるめて針を抜きます。

**3** 針の平らな面をうしろにしてストッパーに当たるまで差し込み、ねじを締めます。

### 正しい針の調べ方

## ランプの交換

\*ランプ(8V、2.4W)は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。



**1** 電源スイッチを切ります。

**2** ねじをはずします。

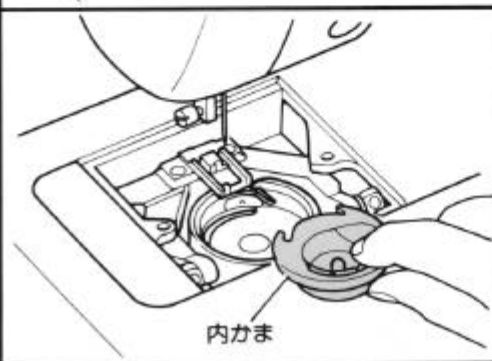
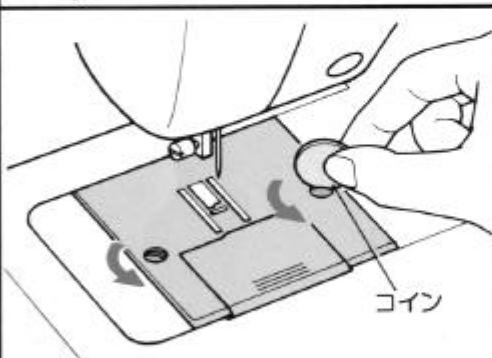
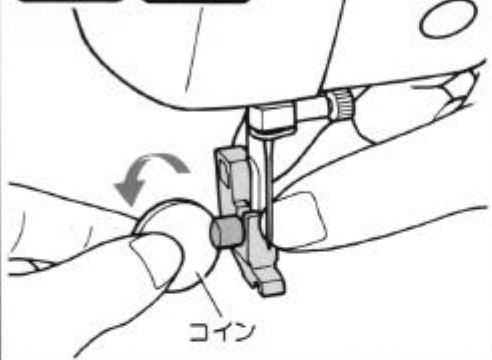
**3** 面板を取りはずします。

**4** ランプソケットを左に出し、ランプを引き抜きます。(①、②)

**5** 新しいランプを取り付けます。ランプソケットを右いっぱいまでもどします。(③、④)

**6** 面板を取り付け、ねじを締めます。

# ■お手入れ

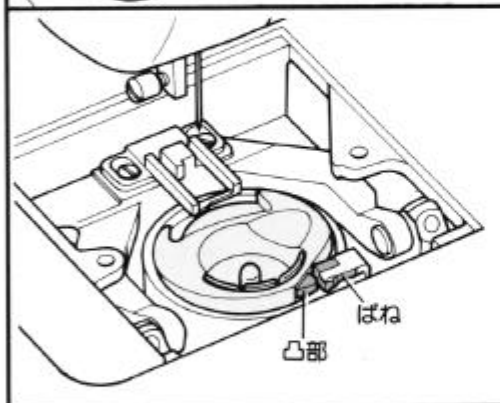
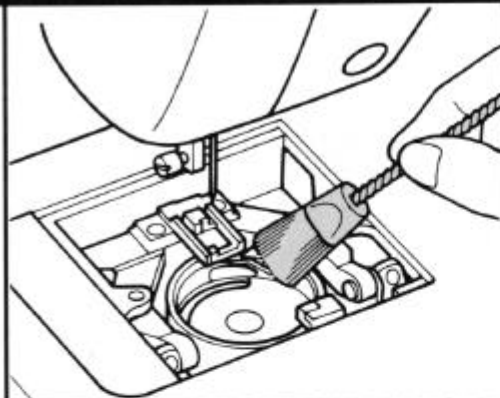


**1** 電源スイッチを切ります。

**2** 押えホルダーをはずします。

**3** 針板をはずします。

**4** 内かまを取り出します。



**5** ほこりや糸くずを取り除きます。

- 内かまは、やわらかい布でふきます。
  - 取りにくい糸くずは、ピンセットや掃除機で取り除きます。
- ※内かまには油をささないでください。

**6** 内かま・針板の順に取り付けます。

- 内かまの凸部とばねとを合わせてセットしてください。

## ■いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

## ■ミシンの大敵

ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。

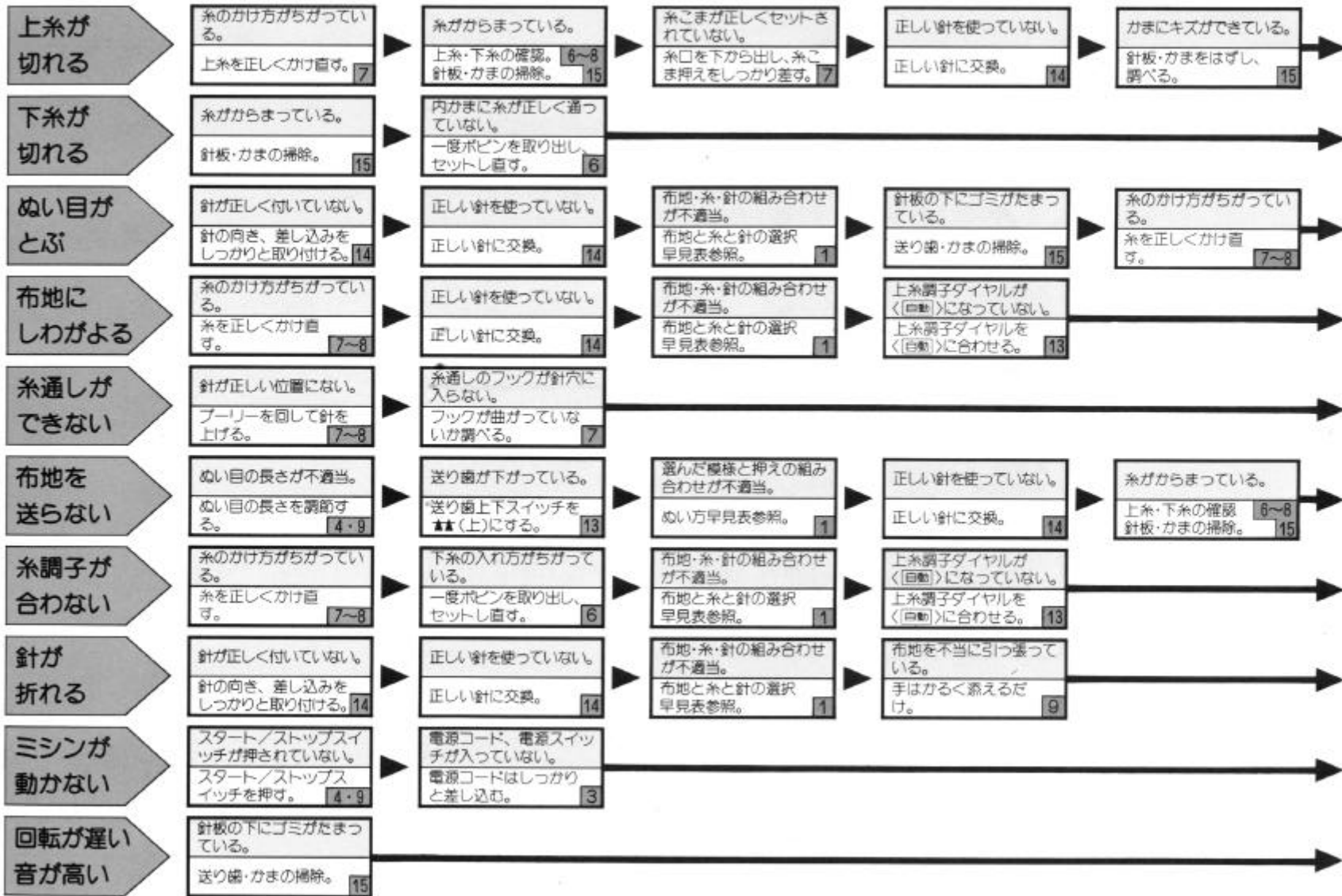




# ■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

※右下の数字はページ数です。



●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの  
ブラザー販売店にお申し付けください。

## ■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。  
(詳しくは保証書をご覧ください)  
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、お買い上げ日から最低8年保有しています。  
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談コーナー〉へお問い合わせください。

### お客様相談コーナー

札幌支店	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631
仙台支店	〒980 仙台市一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
<del>新潟支店</del>	<del>〒950 新潟市東大通4-4-4</del>	<del>TEL:(025)247-7401</del>
東京支社	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)273-0231
<del>新潟支店</del>	<del>〒950 新潟市東大通4-4-4</del>	<del>TEL:(025)247-7401</del>
<del>静岡支店</del>	<del>〒420 静岡市御幸町0-4</del>	<del>TEL:(0542)54-2881</del>
名古屋支店	〒460 名古屋市中区栄3-27-18	TEL:(052)261-3271
大阪支店	〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1	TEL:(06)252-1797
広島支店	〒730 広島市中区胡町4-27	TEL:(082)241-9236
高松支店	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7341
福岡支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-6561
<del>熊本支店</del>	<del>〒960 熊本市城東町0-0-0</del>	<del>TEL:(096)855-7454</del>
沖縄出張所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(0988)68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈お客様相談コーナー〉へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

## ブラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区堀田通9-35 〒467  
TEL:(052)824-2511(代表)

## 取扱店